

議会だより



キッズカーニバルで行われたハイハイ競争（19 年 1 月）

12 月定例会

条例・補正予算

P. 2

委員会報告

P. 2

特別委員会設置の動議

P. 3

11 月臨時会

条例・補正予算

P. 4

12 月定例会

一般質問

P. 5～9

平成19年第4回定例会（12月議会）

平成19年第4回定例会が12月10日から12日までの3日間開催されました。本会議では新規条例の制定1件、一般会計・特別会計の補正予算が審議され、何れも原案通り可決されました。また陳情が8件あり、3件は委員会に付託され審査の結果趣旨了承、5件は卓上配布となりました。

条例制定

山北町後期高齢者医療に関する条例の制定

町は申請や相談の窓口、保険証の配布、保険料の普通徴収事務関係などの規定をするものです。

福祉教育常任委員会に付託、審査の結果全賛賛成で了承され、本会議では賛成多数で可決されました。

補正予算

一般会計

3436万4000円

歳入の主なものは、町税を増額

の増額と医療費増に伴う、国民補助金の増額です。

また、台風9号による災害査定に基づく堰口橋付近道路、滝沢林道の災害費の補助金や共済保険、町有施設内の災害補償金の増額もありました。

歳入の主なものは、電算システムのクラリアントサーバーの導入に伴う諸様式的変更費用、医療費の増額に伴う繰出金の増及び道路新設改良の増額です。債務負担行為の限度額や償却資産税について質疑がありました。賛成多数で可決されました。

特別会計

国民健康保険事業、老人保健医療、下水道事業、山北財産区介護保険事業の各特別会計の補正です。国民健康保険事業では療養給付費に充てるため国保の財政調整基金を2500万円取り崩しました。山北財産区では柑橘果実敷地内に残っていた土地を売却しました。全賛賛成で可決



介護予防事業で行われているさくら塾の様子

人事案件

人権擁護委員の推薦

前任者の任期満了に伴い、新たに提案され同意しました。

福岡 初江氏 山北町岸

陳情

○県の医療費助成制度見直しに関する陳情

○深刻な医師不足を打開するための法律を制定するよう、国に対しての意見書決議を求める陳情書

○看護師等の人材確保の促進に関する法律の改正をおこなうよう、国に対しての意見書決議を求める陳情書

神奈川県保険医協会及び神奈川県医療労働組合連合会から提出されました。

福祉教育常任委員会に付託され審査の結果、趣旨了承しました。

委員会報告

福祉教育常任委員会報告

山北町後期高齢者医療に関する条例の制定についてを審査しました。

質問 条例内容は近隣市町村と同じなのか。

答弁 基本的には条例内容は同じです。督促手数料については、とらない市町村もあります。

質問 広域連合の規則との整合性は問題ないか。

答弁 本来ならば、条例と規則がセットで示されるのが筋と思われるが、国からまだ規則の詳細が示されていません。3月中旬には保険証を配布する予定であり、広域連合では住民に広報していくためには、条例が制定されていないと矛盾が生じるので、条例だけ先に制定をしたいということです。

今後 広域連合の規則が制定されたら、全員協議会で再度説明を求めることを前提として全賛賛成で了承されました。

動議

茂木猛議員が名誉毀損被疑者として送検されたことに伴う調査特別委員会を設置する動議が提出されました。

提出者 湯川 裕司議員
賛成者 瀬戸恵津子議員

茂木猛議員は平成19年3月20日付で、町民の2人の方から名誉毀損被疑事件で告訴状を神奈川県警捜査第二課長あてに提出され、平成19年11月20日、被疑者として横浜地方検察庁小田原支部に在宅で送致されました。

その内容は、インターネットの「2ちゃんねる」に事実無根、誹謗中傷の内容を記載し、町民である告訴人の名誉を著しく傷つけたものであります。

警察で取り調べた結果証拠もあり、本人も書き込みを認めたという事で、証拠隠滅、逃亡の恐れなしとして在宅で検察庁に送致されたとの事です。

議員は、議会人としての品位を重んじ、町民の人權

を守るために働かなければならないにも拘わらず、こうした卑劣な行為は議会の権威を失墜させ、議会全体の信頼を損なうもので、一町議会議員の問題ばかりか、地方議会議員全員の名譽を傷つけるものです。

茂木議員は、平素、リボンを胸に人權擁護の活動をPRしているが、実態は、このような卑劣な行為をしており、町民を愚弄していると思わざるをえません。まして匿名インターネットへの書き込みについては、青少年のいじめや様々な犯罪の温床にもなっており、社会の大きな問題として取り上げられ、国会でも議論されています。

私は議会として、真実を調査し、厳正に対処すべきと考え、調査特別委員会の設置を要求します。

経過

動議の採択について採決の結果賛成多数（賛成は佐藤 湯川、川村、熊澤、池谷、石田、杉本、本杉、瀬戸の9議員、反対は岩本、牧田、小菅各議員、茂木議員は除斥）で議題とすることに決定しました。ついで「茂木猛議員の名誉毀損被疑事件に係る調査特別委員会の設置について採決の結果賛成多数（賛成は、佐藤 湯川、川村、熊澤、池谷、石田、杉本、本杉、瀬戸、岩本、小菅の11議員、反対は牧田議員、茂木議員は除斥）で特別委員会設置が決定しました。

委員会のメンバーは
委員長 川村 俊治
副委員長 池谷壮次郎
委員 湯川 裕司
委員 杉本 君雄
委員 本杉 博是
委員 瀬戸恵津子
の6議員です。

12月11日、26日、1月16日及び23日に特別委員会が開催され告訴状の内容チェックや告訴人、茂木議員の両方から直接説明を聞きました。

第3回臨時会

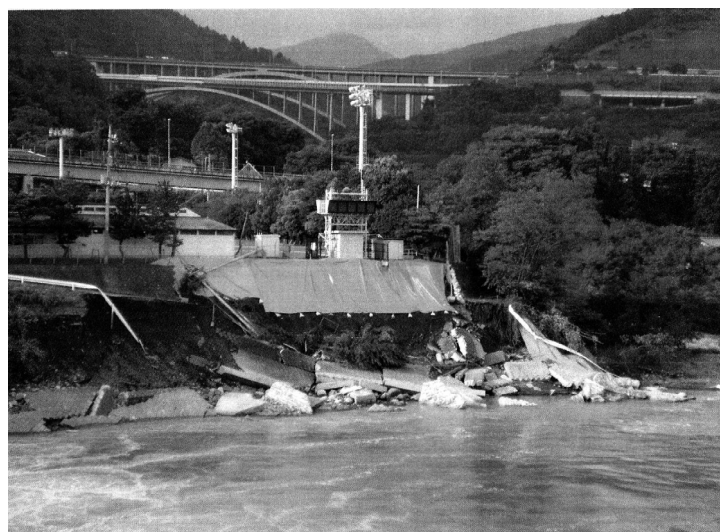
台風9号の被害復旧予算
平成19年10月15日に開催され、議題は一般会計補正予算の審議でした。

9月7日未明に小田原市付近に上陸した台風9号による災害復旧費を計上するもので、県支出金226万8000円、予備費から1455万9000円を充当しました。

質疑では災害復旧は、住民のために、議会の補正予算審議を待たず、専決処分をするべきであるという意見が複数出されました。賛成多数で可決



せきぐち
削り取られた堰口橋附近道路
(皆瀬川第二配水池附近)



被災したスポーツ広場附近の護岸

第4回臨時会

平成19年11月21日に開催
されました。

改正条例

山北町職員の給与に関する
条例の改正
平成19年度の人事院勧告
に基づき改定される国家公
務員の給与に準じ、職員の
給与を改定するものです。
賛成多数で可決

補正予算

一般会計は職員の給与改
定（平成19年4月にさかの
ぼって施行される）に伴う
人件費及び退職手当組合負
担金の増額です。
全員賛成で可決

特別会計では国民健康保
険事業、下水道事業及び介
護保険事業の補正がありま
した。内容は一般会計と同
じく人事院勧告による職員

の給与改定に伴う人件費の
補正です。
全員賛成で可決

工事請負契約

平成19年度デジタル地域
防災無線整備工事
指名競争入札の結果三愛
電子工業株式会社横浜営業
所が落札しました。契約金
額は1億2285万円、工
期は平成20年3月31日です。
工事の概要は、庁舎3階

の防災行政無線の基地とな
る統制局と、大野山にある
中継局、そして移動局とし
て小学校等出先機関に設置
する半固定型無線機4台
小型軽量で持ち運びが便利
な携帯型無線機53台、アダ
プターにより車両のバッテ
リーから電源を確保するこ
とができる車携帯型無線機
8台をアナログからデジタ
ル無線システムに整備する
ものです。
全員賛成で可決



現在使われている携帯型防災無線機（アナログ）

“山北町で開催される”

町村議会議員研修会

議会改革とマニフェスト

四日市大学総合政策学部
教授／自治体議会政策学会
会長 竹下譲氏による講演
会が山北町中央公民館で、
県町村議会議長会主催によ
り2007年11月16日に開
かれました。

当日のテーマは

議会改革とマニ
フェストです。議
会改革を中心に話
をしたいが、マニ
フェストは、当時
三重県知事だった
北川正恭氏に招か
れて研究し以来マ
ニフェストの元祖
のようなかたちに
なっているの
このようなタイト
ルになったとのことです。

今、議会改革ということ
をいわれるが、その背景は
国の膨大な借金にあり、世
界の財政破綻した国の立ち
直った例などを話された。
国が大変なのは地方が税収



講演される講師 竹下 譲 氏

不足を交付税や補助金で補
っている事であり自治体は
歳出削減と自立を求められ
ており、歳出削減には大幅
な経費削減とサービス削減
が必要。サービスの多くは

それには議案審議の見直し
や一般質問の見直し、議会
運営の仕方を変えなければ
住民の理解を得られないし
議会の中身を拘ってもらう
為には会議規則のつくり直
しをし、力をつけることが
必要な事である。首長が
サービスの優先順位をつけ
削減をはかりはじめていく
ことにたいし中央省庁が反
発した。これに対し地方が
克服するためにできたのが
ローカルマニフェストで
ある。

マニフェストと公約の違い
についても、公約は口約
で、マニフェストは必ず実
現すべきもので住民との契
約で守らなければ責任を問
われる。そこで議会の責任
は住民と共に政策チェック
をし、住民の意向をどんど
ん入れる活発な議会になっ
て欲しいと結ばれた。

（瀬戸恵津子記）



環境宣言

質問

山北町環境方針 “脱・温暖化環境宣言”を問う

答弁

今後広報等により普及啓発を実施していきます

池谷 荘次郎 議員

一般質問

※質問者本人が原稿を作成しています。

質問 山北町環境方針に基本理念として、地球温暖化対策は早急に対処すべき人類共通の課題であり、地球にやさしいまちづくりをうたっていますが、県の新アジェンダ21かながわ及びマイアジェンダとの整合性

町民への啓発はどのように計画されているか。

答弁 県の新アジェンダ21かながわには、省資源・省エネルギー、ごみ減量化などの具体的行動メニューが提案されており、町のアクションプランとの整合性は取れています。山北町にはマイアジェンダに登録している町民が約200名おり、各家庭で行動をとっています。

質問 実質的な行動として、各企業、商工会、学校、NPQ、自治会、各団体及び行政とで推進協議会を立ち上げ、町一体の取り組みが必要である。

答弁 現在（仮称）環境

推進協議会を立ち上げる準備を進めています。

質問 「もったいない」活動の推進、フリーマーケット、マイバック持参、包装紙廃止等各団体・個人への呼びかけをすべきである。

答弁 ゴミの排出抑制が一番肝要である。今後環境推進協議会立ち上げ後、効果性のある計画を策定し、議員提案の諸項目について検討、展開していきます。

質問 ごみ焼却の減量化として、分別の細分化、生ゴミ肥料化等により、温暖化対策、焼却場の延命化をすべきである。

答弁 プラスチック素材の細分化については、平成20年度から実施を予定しております。廃プラ以外の物について山北町が主導的に、できるかどうか早急に検討します。

質問 環境家計簿を町民に配布し協力要請をしてはどうか。

答弁 環境推進協議会の中で行動する立場からの意

見を踏まえ、より実践的且つ効果的な行動メニューを検討していきたい。

まちづくり

答弁

質問

急務である商業の振興策は駅周辺魅力づくりの検討に取り組んでいきます



本杉 博是 議員

辺魅力づくりの検討に取り組んでいきます。

質問 山北駅周辺や岸・清水・三保地区の商業活性化策をどのようにするのか。さらに山北駅前にはカラー舗装にしたが、延長計画はあるのか。

答弁 三保地区は丹沢湖や中川温泉を中心とした観光の振興と国・県有林の活用に伴う集客を図る。清水地区はアウトドア系の観光客のゲートとして通過客の取り込みを考えていく。岸・向原地区は土地利用計画の中で検討を進めていきます。カラー舗装の延長計画は現時点ではありません。

質問 老朽化した防犯街路灯は学童の安全安心を考えると、もう少し明るくして

柱の腐食も進んでいる為併せて新設改良が必要と考えるが、計画はあるのか。

答弁 商店振興会との協議により、設置してきた経過がありますが、現在、検討している駅周辺の魅力づくり検討事業の中で、過去の経緯を踏まえ総合的に検討していきたいと考えています。

質問 商業振興に大切な商業団体、町内4地区の振興会や商工会、観光協会等の強化についての考えを伺います。

答弁 商店や行政だけでなく、商工会、観光協会や各種団体等町民も含め一丸となって取り組む必要があると思っています。

答弁 空き店舗対策等や景観形成などのモデル事業の実施や検証を含め、駅周



福祉

質問

地域作業所やまなみ工芸の存続は

答弁

廃止しない方向で県へ要請していきます

瀬戸恵津子 議員

質問 存続の支援を県へ訴えているのか。

答弁 県は、補助金については当初平成18年度の補助割合50%を19年度は37・5%、20年度は25%、21年度は12・5%、そして22年度には補助金を廃止する予定でありました。しかし市町村からの県補助金存続の要望や障害者団体等の強い要望を受け入れられて平成19年度は、当初の予定の37・5%が43・75%に削減額が縮小され、その後も引き続き県へ地域作業所の県補助金の存続を働きかけた結果、当面43・75%を維持し、その後もすぐに廃止はしないとの回答が得られました。今後も引き続き県へ要請していきます。

質問 入所者の受け入れ体制の考え方は。

答弁 建物も古く、現在15名を受け入れていますが、これ以上の受け入れは支障を来たことが懸念されます。別の建物へ移せるか探していますが今のところ見当りません。当面は近隣の施設へ協力をお願いします。

予定です。

質問 防災・衛生面の現状についてはどう考えるか。

答弁 安全・衛生面については厳しい状況を認識しています。問題のない建物へ移設ができるよう引き続き検討します。緊急時の対応については、当面足柄消防への協力をお願いしています。

質問 補助金など具体的な取り組みは何かあるのか。

答弁 福祉空間設備等交付金については、努力をされたか。

質問 福祉空間設備等については、努力をされたか。

答弁 福祉空間設備等についても検討しましたが具体化には至っておりません。

質問 障害者の避難場所については。

答弁 公共施設の指定はないが、19年4月に協定書を締結した町内4ヶ所の高齢者福祉施設が、避難生活が困難な方々や要援護者の方々の避難所です。

質問 公約である電柱の地中化への取り組みは。

答弁 選挙前の将来イメージとしての文言であり、現時点では実現は困難です。

介護保険

答弁

質問

介護給付費の不正請求について

不正行為には、厳正に対処します



牧田 礼二議員

るか。

答弁 介護保険サービスや障害福祉サービスへの信頼を著しく損ねるものであり、到底容認できるものではない。不正行為に対しては、厳正に対処していきます。

質問 町としてどのような対策を取っていくのか。

答弁 介護保険制度は国の制度であり、国・県・町が一体となり戦略的な取り組みをしていかねばならない。このため県では2007年10月1日以降に指定を受ける事業者には申請時に管理者の立会いを求め誓約書の提出を義務づけ、事業所等における法令遵守の徹底を図ることとした。

質問 全国的に発生した不正請求をどのように考えるか。

利用者に6月と12月の2回給付費の内容を通知し、家族の確認を頂いています。今後は更に医療情報との突き合わせや、ケアプランチェック、認定調査状況のチェックなど実施し、引き続き国や県と連携し、介護保険給付費の適正化に努めます。





公務員倫理

質問

政官業の癒着について

答弁

あつてはならない

茂木 猛 議員

質問 防衛省での企業との癒着が大問題となつてい
る。癒着を起さない為に
町長はどう考えているか。

答弁 政官業のもたれ合
い関係は根が深く、私も国
民の一人として憤りを感じ
ています。幸いにして山北
町では癒着問題の発生はな
く、これからの絶対にあつ
てはならないと考えます。

質問 指定管理者や助成
金に対してはどうか。

答弁 指定管理者の選定
では、県の機関や町内の団
体から選出した委員による
指定管理者選定委員会を設
置し、透明性及び公平性を
確保し、選定後も指定取り
消し等を含む協定を締結し
ております。助成金の査定
では、助成金交付方針に基
づき査定しています。

質問 職員については

答弁 常日頃から倫理の
徹底を図っており、更に研
修等で公務員としての自覚
倫理の向上に努めます。

質問 町有施設の経年劣
化が目立つと思う。今ある
ものを生かす観点が必要で
はないか。

答弁 経年劣化の個所等
は、補正予算や当初予算に
計上し修繕等を行っています。
多額の費用がかかる物件は
年次計画を立てていますが、
限られた予算の中、計画通
りに実施できない状況です。
今後は、個々の状況を詳細
に把握し検討した上で、実
施に向け取り組みます。

質問 この冬は大雪が懸
念されている。孤立する地
区が発生することも考える
べきではないか。

答弁 雪害対策では、道
路を第一に考え、凍結防止
剤の購入や、山北町建設業
協同組合と全ての町道の除
雪等作業に係る契約を締結
し、各地が孤立しないよう
に努めています。また、ヘ
リコプター臨時離着陸場と
して、航空法の規定による
設置条件を満たしているの
は、川村小、山北中、山北高
清水小中、三保中、スポー
ツ広場、旧ハイツ&ヴィラ
中川及び共和小の8箇所を
指定し、緊急時に対応でき
るようにしています。

質問 バイパス工事にあ
わせて検討を進めるとい
うが、現在までのような検
討をしたか。

質問 バイパス工事にあ
わせて検討を進めるとい
うが、現在までのような検
討をしたか。

答弁 平成18年度の検討
事業で現況調査と課題抽出
を行った。報告書では駅前
広場の整備や商業施設の誘
致の必要性が挙げられまし
た。

質問 地権者や地域の代
表、国・県やJRとはどの
ような交渉をしたか。

質問 地権者や地域の代
表、国・県やJRとはどの
ような交渉をしたか。

まちづくり

質問

東山北駅周辺整備の進捗状況は

バイパス工事との整合で検討を進めます



川村 俊治 議員

質問 平成17年12月議会
で、東山北駅周辺のまちづ
くりについて質問をしたが、
その後の状況はどうか。

答弁 国道246号バイ
パス工事との整合を図り、
検討を進めていくことに変
わりはありません。

質問 バイパス工事にあ
わせて検討を進めるとい
うが、現在までのような検
討をしたか。

答弁 平成18年度の検討
事業で現況調査と課題抽出
を行った。報告書では駅前
広場の整備や商業施設の誘
致の必要性が挙げられまし
た。

質問 地権者や地域の代
表、国・県やJRとはどの
ような交渉をしたか。

質問 地権者や地域の代
表、国・県やJRとはどの
ような交渉をしたか。

答弁 平成20年度に周辺
住民や地権者からヒヤリン
グを行う予定です。県とは
サンライズ東山北の整備の
ときに、町の構想に基づい
て大まかな協議をしました。

質問 バイパスは平成22
年3月に完成するが、それ
までに整備することを考え
てはどうか。

答弁 予算的に厳しい状
況です。補助メニュー等を
探しますが、将来の予算の
枠組みを含めて検討してい
きます。

質問 酒匂川左岸道路に
ついてはどうか。

答弁 松田町と山北町
松田土木事務所で実現に向
けた取り組みが行われてき
ましたが、松田町内での都市計
画決定が厳しい状況にある。
当面河川管理用通路として

整備することになり、平成
19年度から工事に着手しま
した。

質問 町道尺里橋・中里
線の山下地区付近で、JR
東海が法面の工事を行って
いる。広くなる道路部分を
町で買い取り町道を拡張す
る計画はないか。

答弁 この道路は交通量
が増しているが、普通車の
相互通行が不可能な道路で
す。JR東海と協議し、
道路用地として町に譲渡し
ていただけることが決まり
ました。

質問 東山北停車場線の
改良工事はどうか。

答弁 元禄沢周辺の改良
工事は平成20年春から着手
し、21年春の完成を目指し
ています。



少子化対策

質問

小児医療費の助成について

答弁

小児医療費は現状のまま

熊澤 友子 議員

質問 県では平成20年10

月から、小児医療費の助成対象年齢を、3歳未満から就学前までに引き上げる予定です。山北町では、小学校修了までとしております。県が実施すると町としては小児分の助成金が、少しは軽くなると思われますが、その金額はどれくらいになるのか。

答弁 県は対象年齢を引き上げ、一部負担金を導入する予定です。一部負担金の導入部分を差し引いて、20年度は10月からの実施となりますが、半年分の140万円程度です。

質問 県では、一部負担金を導入するが、町民に負担させるといことはいいですか。

答弁 そういう考えはありません。

質問 20年度は140万円程度軽減ということですが、これを少子化対策等について使おうという考えはありますか。

答弁 20年度の予算が非常にきついで全体の中で検討します。

妊産婦定期検診の費用の助成について

質問 厚生労働省は妊婦にとって望ましい、定期検診は14回で、最低5回は必要であるとしています。

山北町では、妊産婦の定期検診は2回の助成となっています。前回の定例議会で、回数を増やす方向で検討すると答弁されておりましたが、その後の方針は

答弁 定期検診の必要性は理解しております。財政が厳しいことと他の市町村の状況を踏まえ、回数増加を検討していきたいと考えています。

質問 現在上病院で出産できるのは月に20人です。後は、個人病院での検診・出産となります。個人病院での費用は、平均70万円位となるようです。その中で、検診2回だけの助成というのは、少し厳しいのではないかと、実態を踏まえての考えは

答弁 5回というベースで当初予算で検討をしております。最終的にどうなるか、もう少し猶予をいただきたい。

健康づくり

答弁

質問

パークゴルフ場建設の考えは

早い時期に造りたい

杉本 君雄 議員



パークゴルフは、子どもからお年寄りの方々まで幅広い層が無理なくできるスポーツです。

質問 健康対策としてのパークゴルフ場を建設する考えは

答弁 パークゴルフ場として整備するには、広い面積を必要とするので、町有地等の有効活用を考えます。

質問 町有地等の有効活用を具体的に説明願いたい。

答弁 老人会等からも頼まれているので、正直なところパークゴルフ場は造りたい気持ちであります。

質問 中川地区にあるハイツ&ヴィラの跡地活用をすべき。

答弁 パークゴルフ場と温泉のアイデアは非常に良

いので、検討材料の一つとして考えたいと思います。

質問 パークゴルフ場の無い山北町が足柄カップに招かれた感想は

答弁 今回初めて山北が入れてもらって良かったと思います。山北に将来的にはパークゴルフ場を造りたいと思います。出来るだけ早い時期に出来るよう検討していきます。

質問 簡保レクの跡地活用は

答弁 県に対して地域振興の一環として引き続きの支援を要望するとともに、幾つかの民間企業の引き合いもありますので、民間企業の土地利用の可能性についても調整・検討をしているところです。

質問 民間企業と言われているが地元の要望等の聞き入

れは

答弁 主体はあくまでも民間企業です。難しいと思いますが、ある程度の範囲での希望はできると思います。

質問 簡保レク跡地の計画を何年と考えるのか。

答弁 通常考えて5年以内と思っています。

質問 簡保と都市公園は一体で取り組んできたが今後の考えは

答弁 民間企業は簡保レクと同じような基本理念の企業です。今後は最小限の見直しでやっていきたいと考えています。

その他 山北つぶらの公園、牧場館、ふるさと館などを質問いたしました。



基金

質問

ふるさと創生基金をなぜ積み立てるのか

答弁

簡保レクの解決金の一部を戻すものです

湯川 裕司 議員

質問 ふるさと創生基金 1億4000円を使った温泉井戸が財産目録に計上されていないが。

答弁 様式簿記の公会計制度が確立されていないため、土地のみを計上したが、今後有効な活用方法が決定し実施する場合には施設等を財産として計上する予定です。

質問 目的基金であるふるさと創生基金が、議会承認を受けて目的通りに終了しているのに、なぜ、またふるさと創生基金へ積み立てなければいけないのか。

答弁 温泉掘削にふるさと創生基金を使ったので、解決金の一部をふるさと創生基金に戻したものです。

質問 解決金5億円の中心からふるさと創生基金に積んだものではないはずだが。

答弁 簡保レクの解決金の一部をふるさと創生基金に積み立てました。

質問 簡保レクの解決金の一部が減債基金に積み立てられているが、どの起債の返済に充てるためのものか。

答弁 大野山桜の里づくり事業を実施した際、地域総合整備事業債で借り入れを起したので、これに充当するものです。

質問 桜の里づくりで借りた地域総合整備債に充てるために減債基金に積んで、本当にこれでよいのか。

答弁 減債基金は町債の返還のためのものでありますので、地域総合整備事業債の元利総額9,521万円に解決金の按分率53%を乗じて得た5,300万円を積み立てたものであり、解決按分率は交付金に算入される分を差し引いた率であります。

質問 自己都合による退職者が多くなっていると思うが、町政に失望しているのでは。

答弁 町長就任以降18年度が5人、19年度が4人で、市町村職員退職手当組合の増加傾向にかんがみて、町政に失望しての退職と言えらるものではないと思っています。

生活環境

質問

町道・砂利道の解消を

答弁

碎石等で整備に努める



岩本 章治 議員

質問 町道 鍛冶屋敷高杉線は、改修継続中で、小学校側から進められています。町側と工事請負業者にとっては作業がしやすく、効率的であると思われますが、生活している住民にとっては大変な難儀があります。舗装されていない道路は、雨が降れば雨水が路面のくぼみを川のように流れ、その後には堀ができ、少ない戸数で埋める作業をしない限り、車社会に対応できない現実があります。幸い、小学校、市間間は舗装されており、堀を埋めるといいう作業はありません。最終的には全区間が改修される事業だと思います。計画に困難性があっても、市間、高杉

間を優先して、地域の住民に喜ばれる事業を展開すべきと思いますが、町側の見解を求めます。

答弁 この路線の改良工事は、長年自治会要望を受けて実施しているものです。第4次総合計画に位置付け、平成15年度に古宿、市間間の路線測量を実施し、延長880mを幅員4mに拡張し、橋梁2基を架け替えることになっていました。台風4号及び9号で保安林の崩落等が発生、町道も被害が生じています。保安林の崩落は、治山事業の採択を受け整備を図ることが先決で、その後に保安林解除を行った上で、道路改良に着手することになります。現在進めている平成22年度までの工事を優先することが

地元要望にこたえることと思います。砂利道解消は引き続き碎石等による路面の整備に努めていきます。

質問 簡易路面舗装をするならば、保安林解除手続きをしなくても出来ないか。

答弁 森林法の規定から言えば、地形改変をする事になってしまいます。



議会活動

1 1 月

- 11. 1 広報編集委員研修会
- 2 県議長就任を祝う会
- 12 郡定例議長会
- 16 町村議会議員研修会
- 20 地方自治法施行 60 周年記念式典
- 21 第 4 回臨時会
議員全員協議会
- 22 正副議長、各常任委員長研修会
- 27 県議長会役員会
- 28 議会運営委員会
- 30 第 51 回町村議会議長会全国大会

1 2 月

- 12. 10 第 4 回定例会・本会議
- 11 第 4 回定例会・委員会
- 12 第 4 回定例会・本会議
- 19 足柄上地区 1 市 5 町議会議員スポーツ大会
- 26 茂木猛議員の名誉毀損被疑事件に係る調査
特別委員会

1 月

- 1. 4 議会だより編集委員会
- 8 市町村長・議長との賀詞交歓会
- 11 議会だより編集委員会
- 16 茂木猛議員の名誉毀損被疑事件に係る調査
特別委員会
- 18 議会だより編集委員会
- 23 足柄消防組合議会臨時会
茂木猛議員の名誉毀損被疑事件に係る調査
特別委員会
議会運営委員会
第 1 回臨時会
- 25 足柄上地区広域行政協議会
議会だより編集委員会
- 29 県議長会役員会
- 31 正副議長、事務局長合同研修会
第 8 回富士箱根伊豆交流圏市町村サミット

2 月 1 日から山北町ホームページに
議会情報が掲載されます。

議会の傍聴に
おいで下さい

3 月定例会

3 月 6 日(木)

17 日(月)

予定

庁舎内テレビでも放映しています。

◆ お問い合わせ ◆

議会事務局

電話 75 - 3653

編集後記

富士山が真っ白な帽子をかぶり、冷たい風が、体にしみ込んでくる季節となりました。

成人式に集う青年たちは皆、晴れ晴れと、輝いていました。

12 月定例会では、一人の議員の不祥事が、動議として提出され、追加議題となりました。審議の結果、調査特別委員会が設置されま

した。私どもは、委員会の報告を受けて、しっかりと対処してまいりたいと思っております。

町民の皆様の声の代弁者としての思いを心において、お役に立てる私達でなければならぬと思っております。編集委員会も、内容を正確にわかりやすく、お伝えしていただけるように努力してまいります。ご意見、ご要

望をぜひお寄せ下さるようお願い申し上げます。

委員長 湯川 裕司
副委員長 杉本 君雄

川村 俊治
熊澤 友子
瀬戸 恵津子

茂木 猛議員は議会だより編集委員を辞任しました。